

会瀬 芋トマト

会瀬学区 HP <http://www.net1.iwav.ne.jp/com-ose06/>

第234号

発行責任者：須田 育慎
編集責任者：皆川 直司
電話：会瀬交流センター
0294-25-1577
印刷：大成印刷株式会社

2020.令和2年 謹賀新年



地域の皆様におかれましては新春の輝かしい年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

会瀬学区の皆様には、常日頃から会瀬学区コミュニティ推進会・学区社会福祉協議会の運営にご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

本格的な少子高齢化の時代を迎え、日々地域住民の生活環境や、価値観は変化しています。コミュニティ活動に一人ひとりが関心を持ち活動に参加することが重要であり、個人で解決することが困難でも、地域で取り組めば解決できる事もあります。自分たちの地域を住みやすく快適にしようという理念を持ちいままでの事業の継続を通して地域の人々の絆を強め、理解し合える人間関係を構築し、より良い地域を目指します。

東日本大震災から8年が経過しました。今年は津波・高潮等から地域住民の生命、財産を守る事業として、海岸保全施設整備工事(防潮堤工事)が日立バイパスとの関連工事として舟入河口の一部を除き全行程が完成します。会瀬の海岸が整備され、新しい環境の中で海水浴客の誘致や探索ツアー等の行事を考えていきたいと思っております。

会瀬学区は学校運営協議会制度のもとコミュニティスクールである会瀬小学校の教育活動に学習ボランティアとして、学校・地域・保護者と連携した協働で子どもたちの成長を支援する重要な役割を担っています。「地域の子どもは地域で育てる」を掲げ子どもたちの健全な育成事業を更に強化していきます。学区の皆様にはご理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

会瀬交流センターは多くの利用者が利用出来るよう課題であった駐車場をかんしよの坂脇の空き地を整備し駐車場として確保いたしました。管理運営には会瀬学区コミュニティ組織の活動拠点として地域情報発信の場、身近な相談窓口としての機能を充実させ安心安全の理念のもと利用者の使いやすい場所となるよう努めてまいります。皆様のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年も皆様にとって良い年でありますことを祈念申し上げます新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

会瀬学区コミュニティ推進会 会長 須田 育慎

お知らせ

第三十回

「浜の焚きあげ祭」のご案内

地域の皆様のふれあいを深め、一人一人の健康と安全安心を願い、子どもたちの健全育成を祈る「浜の焚きあげ祭」も三十回を迎えます。今回も会瀬小学校の理解と協力によりまして授業の一環とし全校生徒が参加した行事となりました。児童たちの健康と安全を考慮して昨年と同様時間を早めて計画しています冬の午後子どもたちの元気な姿を見てください。

期日 令和二年一月十五日 水曜日
悪天候の時は順延

場所 会瀬青少年の家グラウンド
主催 会瀬学区コミュニティ推進会
協力 会瀬小学校・同PTA・子ども会育連合会・日立第四消防団
日程 小学生
午前中 普通授業 雨天の場合は不参加で普通事業
十三時四十分 会場到着 先生の指導で凧揚げ見学
十四時十五分 焚きあげ祭 開始
二十五分 点火 浜太鼓見学
十五時十分 通学班で自宅へ

地域の方々 十五時以降は大人の時間
焚きあげる物 しめかざり、門松、しめなわ、飾り松、神社のお札、お守り、だるま等
その他正月の飾りもの、書き初めの反古紙等。
*一月十四日 火曜日
正午以後に焚きあげる物ご持参ください。

交流会 甘酒、お茶、漬け物、ジュース類は用意します。
酒類は各自ご持参下さい。
消火 十七時に消火します。



生涯学習映画予告

令和2年2月23日(日)
上映開始午後1時
会瀬交流センター
★「裸の大將」
詳細チラシは
市報2月5日折込
[問い合わせ]
会瀬交流センター
TEL 25-1577

健康料理教室 参加者募集 ～減塩食で生活習慣病予防～

日時 令和2年1月15日(水) 10時開始
場所 会瀬交流センター
会費 ひとり200円
持ち物 ・三角巾・エプロン・電卓
・みそ汁(半カップ)
メニュー
・鶏ときゅうりの粒マスタードマリネ
・きのこのオイスターソース
・大根のさっぱりはちみつレモン
・カップですまし汁
募集人数 若干名
申込み先 直接電話で
会瀬交流センターTEL 25-1577

会瀬児童クラブ支援員募集!!

会瀬学区在住で、児童クラブに関心のある方の募集をお待ちしております。
《支援員》2019年4月から勤務できる方
*募集人員:若干名(女性)
*勤務内容:子どもの生活支援(生活、遊び)
*勤務時間:月曜日から金曜日の2~3日のローテーション勤務
長期休暇 7:30~
通常 13:00~ 18:00 延長時間(有) 19:00 まで
*時給: 850円
《問い合わせ》
1月6日(月)~3月末までに会瀬児童クラブにお問い合わせください。
電話 0294(36)0663 13:00 より

【編集後記】

・小学校3年生に70年前の会瀬小学校の話をしました。給食がなかったことや水道がなく井戸からポンプで水を汲み上げ利用していたことが驚きのようでした。
・家族と迎える正月は普段の生活とちがう習慣が昔からありました。新年のあいさつ、おせち料理、初詣で、お年玉等々。親から子へと伝えられたしきたりを継続してもらいたいものです。

交流センター 年末年始 休館日のお知らせ

12月29日(日)から
1月3日(金)まで
休館日となります
12月28日(土) 館内清掃
[問い合わせ]
TEL 25-1577

おもちゃライブラリー 1・2・3月開催

金曜日
9時30分~11時30分
1月10日 2月7日 3月6日
17日 14日 13日
24日 21日 27日
28日

会瀬交流センター
電話 25-1577

ふるさと会瀬から

会瀬旧述 その五 会瀬八景

前号の五奇談の次に記述されているのが会瀬八景である。2年前にプチトマトに掲載したがあらためて紹介します。会瀬鹿島神社の宮司である瀬谷義文が会瀬浦周辺の優れた風景を中国のしようしよう八景にならって八つ選び、自作の和歌とともに記している。

一 七夕会瀬（たなばたおうせ） 七夕伝説がある磯の風景と地名ゆかりの七夕磯を第一に挙げています。

寄る波の 分かれてまたも打ち合わせ 音を 会瀬の浦と云うらん

一 鶴島釣魚（うしまちようぎよ） 動力船がない時代は釣り漁業が主であり、伝馬船で賑あった鶴島の夕景

満ちくれば なおも行こう釣り人の なえて 鶴島にかかる夕風

一 港中泊船（こうちゆうはくせん） 帰帆する多くの漁船でにぎあう港の風景

おちこちの 霞める中を夕かけて 会瀬の浦にかかる諸舟

一 伊勢崎松（いせぎきのまつ） 浦の北側にある岬、伊勢崎の先端の松は特徴があり、見通しの悪い霧の日には漁師の目印になった。

遠かたや 横とう霧のはさまてに まがうかたなき伊勢崎の松

一 端崎砂山（はさきすなやま） 伊勢崎を端崎（初崎）とも言った。端崎の津神社北東側には砂丘が昭和初期まで形成されていた。ふけつつも ひとやはからん砂山に 月の陰さえやどるかたなき

一 女夫瀑布（めおとたき） 端崎の砂山の北側にある釣見崎周辺の二つの滝は流れが一つになる伝説を生んだ。

ちぎりおく その水上のこととわん 結ばれ落ちる瀧の白糸

一 坊崎常雫（ぼうさきつねしずく） 坊崎は会瀬青少年の家、西側の急峻な崖で平成以前は自然の岩肌であり地下水が常にしずくのように落下していた。

曇りなき 日にも降りしく坊崎の 雨かとぞ見しずくなるらめ

一 御山涼風（おやまりようふう） 旧鹿島神社の風景であるが、村の鎮守は相賀町南端の台地上に鎮座していた。

ときわぎの ふとしき神の苔むして 茂りに通う風の涼しさ

附記

成沢鹿島神社と会瀬鹿島神社の宮司であった瀬谷義文が選んだ会瀬海岸の八景である。300年前の会瀬浦がありありと思いかぶような八景である。春夏秋冬よく歩き、細かく観察し、村人との対話を密にした結果の八景ではなからうか。

歌心を持った宮司が八景を詠んでいるが最後にあげたのは自分の社である会瀬鹿島神社で宮司らしさが良く詠みこまれている。



普通救命資格取得講習会

11月17日（日）午前9時〜12時
会瀬交流センター増進室

普段の生活の中で、突然の事故や怪我にあう、恐れは予測できません。そのような時、救急車が来るまでに出来る手当が普通救命救護の資格を取得した人達の人命救助が役立ちます

防災部主催で日立消防署の指導で名の参加で行われました



12月17日（火）
講師の方々を迎えて
報告会がありました



前会長柴田和彦氏 総務大臣表彰

25年間にわたり、地域の安全・安心そして住みよいまちづくり活動の中心として活躍してきた、前会長柴田和彦氏が11月29日に、自治会等の団体功労者として総務大臣から表彰を受けました。長年の労苦に感謝するとともにお祝い申し上げます。

福祉功労者が顕彰されました

◎日立市社会福祉協議会会長顕彰
令和元年11月12日、日立市社会福祉協議会の「ふくしのつどい」が、日立シビックセンター
音楽ホールに於いて開催され、
多年にわたり地域福祉活動を実践されて、社会福祉の発展に寄与された功労者が顕彰されました。
会瀬学区からは、左記の方々顕彰されました。

◎社会福祉協議会会長顕彰被顕彰（在職10年以上）
鎌田 勉氏

◎民生委員児童委員功労者（在職9年以上）
富田 利一郎氏 鴨志田 礼子氏 鈴木 裕子氏

◎社会福祉活動協力援助者（在職5年以上）
横山 建男氏

第38回茨城県民生委員児童委員大会
令和元年10月31日（木）
県民文化センター（大ホール）
茨城県民生委員児童委員協議会会長表彰
富田 利一郎氏 鴨志田 礼子氏 鈴木 裕子氏

地域とともにある学校 づくりのために

日立市では平成29年度から既存組織「学校評議員会」を発展させ学校運営協議会制度（コミュニティスクール）がスタートしました。令和2年度には全小学校、中学校特別支援学校で試行実施が始まり令和3年度には本格実施することになっています。

会瀬小は学校運営協議会今年で3年目になりました。地域協働本部の活動も順調に進んでいます。学校へ依頼として地域の事業に全児童が参加、学区防災、三世代敬老の集い、浜の焚きあげ祭、おおせ秋まつり（4年）などです。

そして、学校からは地域への支援ボランティア依頼として、砂遊び集会、学習支援ボランティア3年、会瀬のすてきな人を見つけよう、5年、ひと針に心をこめて6年総合学習「伝え合おう！日本のよさ・日本の心」を昨年に引き続き①茶道 ②華道 ③和裁（刺し子）④百人一首 ⑤箏 ⑥菓子（ビスコイト）今回新しく⑦三味線⑧着付け（百年塾市民教授）を行いました。

3学期には、昔遊びその他の授業に学習支援ボランティアの支援活動が行われます

